

平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成22年11月12日

上場会社名 杉田エース株式会社

上場取引所 大

コード番号 7635 URL <http://www.sugita-ace.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉田 直良

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長兼経理部長 (氏名) 横井 雅彦

TEL 03-3633-5150

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	15,984	△5.4	△206	—	△189	—	△66	—
22年3月期第2四半期	16,890	△12.5	△402	—	△377	—	△257	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	△12.38	—
22年3月期第2四半期	△47.88	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	18,027	5,758	31.9	1,072.76
22年3月期	20,431	5,870	28.7	1,093.40

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 5,758百万円 22年3月期 5,870百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,000	△1.6	30	—	70	—	150	146.0	27.94

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

平成22年8月9日に発表の業績予想を修正し、平成22年11月5日に「業績予想の修正に関するお知らせ」を開示しております。

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期2Q 5,374,000株 22年3月期 5,374,000株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 5,911株 22年3月期 4,912株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期2Q 5,368,394株 22年3月期2Q 5,369,368株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成22年8月9日に発表の業績予想を修正しております。詳細につきましては、平成22年11月5日に開示しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 上記の資料及び本資料に記載されている業績見通し等の記述は、作成日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(第2四半期累計期間)	6
(第2四半期会計期間)	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期会計期間におけるわが国経済は、生産は緩やかに持ち直し、企業収益は改善してまいりましたものの、雇用情勢は依然として厳しく、公共投資は総じて低調に推移致しました。

住宅建築関連業界におきましては、新設住宅着工は戸数、床面積共に持ち直してまいりましたが、依然、低調に推移し、厳しい状況が続きました。

このような状況の中、当第2四半期会計期間における売上高は、86億74百万円（前年同期比1.5%減）となりました。

営業損益は、販売費及び一般管理費が、貸倒引当金繰入額38百万円、広告宣伝費15百万円、減価償却費11百万円、それぞれ前年同期より減少したこと等により、0.4百万円の営業損失（前年同期より31百万円の改善）となりました。

経常損益は、営業外収益が前年同期より8百万円、営業外費用が同24百万円それぞれ増加したことにより8百万円の経常損失（前年同期より15百万円の改善）となりました。

四半期純損益は、保険解約返戻金1億13百万円の特別利益が発生したため、90百万円の四半期純利益（前年同期より78百万円の改善）となりました。

これにより、1株当たり四半期純利益は16円80銭となりました。

当第2四半期会計期間におけるセグメント別の商品区分別売上高は次のとおりであります。なお、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」の適用により、従来の事業部門別からセグメント別に変更したため、前年同四半期比は記載しておりません。

商品区分	ルート事業	建材事業	D I Y事業	計	構成比
住宅用資材（千円）	3,132,889	473,352	—	3,606,241	41.6%
ビル用資材（千円）	3,268,378	615,797	—	3,884,175	44.8%
D I Y商品（千円）	—	—	569,117	569,117	6.6%
OEM関連資材（千円）	—	349,216	—	349,216	4.0%
その他（千円）	162,163	104,075	—	266,239	3.0%
合計（千円）	6,563,431	1,542,442	569,117	8,674,990	100.0%

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の資産合計は180億27百万円となり、前事業年度末より24億4百万円減少いたしました。これは主に、流動資産のうち受取手形及び売掛金が22億19百万円減少し、現金及び預金が1億27百万円増加したこと及び投資その他の資産が2億86百万円減少したこと等によるものであります。

負債合計は122億68百万円となり、前事業年度末より22億92百万円減少いたしました。これは主に、流動負債のうち支払手形及び買掛金が19億38百万円、長期借入金（1年内返済予定を含む）が2億66百万円、それぞれ減少したこと等によるものであります。

純資産合計は57億58百万円となり、前事業年度末より1億11百万円減少いたしました。これは、当第2四半期累計期間純損失66百万円、剰余金処分による株主配当金の支払21百万円及びその他有価証券評価差額金23百万円の下落によるものであります。自己資本比率は、前事業年度末比3.2ポイント増加し、31.9%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末より1億27百万円増加し、13億7百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、2億49百万円（前年同期は7億12百万円の支出）となりました。これは主に、売上債権の減少額22億7百万円、減価償却費1億6百万円、その他1億11百万円の資金増加に対し、仕入債務の減少額19億17百万円、保険解約益1億13百万円、税引前四半期純損失53百万円、役員退職慰労引当金の減少額48百万円、法人税等の支払額14百万円等の資金減少があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は、1億66百万円（前年同期より1億9百万円増加）となりました。これは主に、保険積立金の払戻による収入2億87百万円の資金増加に対し、投資有価証券、有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出1億17百万円等の資金減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は、2億88百万円(前年同期は5億14百万円の獲得)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出2億66百万円、配当金の支払額21百万円によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当第2四半期における業績の進捗状況を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成22年8月9日に発表しました平成23年3月期通期の業績予想を修正しております。

詳細につきましては、平成22年11月5日付で開示しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① たな卸資産の評価方法

たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、当事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,437,577	1,309,963
受取手形及び売掛金	8,943,425	11,162,902
商品	1,342,453	1,399,062
未成工事支出金	188,888	113,442
未収入金	1,115,072	1,206,677
その他	82,413	24,167
貸倒引当金	△43,000	△55,000
流動資産合計	13,066,831	15,161,216
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,333,038	1,368,978
土地	1,946,253	1,946,253
その他(純額)	360,041	334,912
有形固定資産合計	3,639,334	3,650,143
無形固定資産		
ソフトウェア	85,215	97,550
その他	9,256	9,267
無形固定資産合計	94,472	106,817
投資その他の資産		
投資有価証券	587,552	672,858
破産更生債権等	224,827	335,493
その他	620,835	799,487
貸倒引当金	△206,798	△294,459
投資その他の資産合計	1,226,418	1,513,379
固定資産合計	4,960,224	5,270,341
資産合計	18,027,055	20,431,557

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,778,156	11,716,931
1年内返済予定の長期借入金	434,621	501,551
未払法人税等	21,802	23,938
その他	519,026	565,081
流動負債合計	10,753,607	12,807,502
固定負債		
長期借入金	732,484	932,452
退職給付引当金	367,502	355,302
役員退職慰労引当金	343,203	391,750
その他	71,613	73,988
固定負債合計	1,514,803	1,753,492
負債合計	12,268,410	14,560,995
純資産の部		
株主資本		
資本金	697,240	697,240
資本剰余金	409,450	409,450
利益剰余金	4,713,251	4,801,174
自己株式	△2,729	△2,345
株主資本合計	5,817,212	5,905,519
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△58,567	△34,957
評価・換算差額等合計	△58,567	△34,957
純資産合計	5,758,644	5,870,562
負債純資産合計	18,027,055	20,431,557

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	16,890,287	15,984,021
売上原価	14,367,365	13,632,968
売上総利益	2,522,921	2,351,052
販売費及び一般管理費	2,925,548	2,557,561
営業損失(△)	△402,626	△206,509
営業外収益		
受取利息	3,949	2,253
受取配当金	2,293	3,105
仕入割引	37,975	37,497
雑収入	11,513	28,997
営業外収益合計	55,732	71,854
営業外費用		
支払利息	11,720	13,352
投資事業組合運用損	6,422	31,805
手形売却損	11,450	7,932
雑損失	845	1,376
営業外費用合計	30,438	54,466
経常損失(△)	△377,332	△189,121
特別利益		
貸倒引当金戻入額	22,000	23,373
訴訟損失引当金戻入額	117,507	—
保険解約返戻金	—	113,003
固定資産売却益	400	—
特別利益合計	139,907	136,377
特別損失		
固定資産売却損	5,199	—
固定資産除却損	3,370	741
特別損失合計	8,569	741
税引前四半期純損失(△)	△245,993	△53,484
法人税、住民税及び事業税	11,608	13,432
法人税等調整額	△492	△470
法人税等合計	11,116	12,962
四半期純損失(△)	△257,109	△66,446

(第2四半期会計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)
売上高	8,811,500	8,674,990
売上原価	7,494,238	7,410,542
売上総利益	1,317,261	1,264,448
販売費及び一般管理費	1,348,848	1,264,933
営業損失(△)	△31,586	△484
営業外収益		
受取利息	1,410	1,071
受取配当金	746	1,615
仕入割引	18,287	18,342
雑収入	5,703	13,151
営業外収益合計	26,147	34,181
営業外費用		
支払利息	6,089	6,470
投資事業組合運用損	6,422	31,805
手形売却損	5,121	3,797
雑損失	502	75
営業外費用合計	18,136	42,148
経常損失(△)	△23,575	△8,451
特別利益		
貸倒引当金戻入額	△10,580	△6,464
訴訟損失引当金戻入額	60,007	—
保険解約返戻金	—	113,003
固定資産売却益	400	—
特別利益合計	49,827	106,539
特別損失		
固定資産売却損	5,199	—
固定資産除却損	2,687	656
特別損失合計	7,887	656
税引前四半期純利益	18,365	97,430
法人税、住民税及び事業税	6,497	7,475
法人税等調整額	△246	△235
法人税等合計	6,251	7,240
四半期純利益	12,114	90,190

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失(△)	△245,993	△53,484
減価償却費	137,159	106,901
訴訟損失引当金の増減額(△は減少)	△310,000	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	13,714	12,199
貸倒引当金の増減額(△は減少)	21,848	△22,456
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	8,150	△48,546
受取利息及び受取配当金	△6,243	△5,359
支払利息	11,720	13,352
保険解約損益(△は益)	—	△113,003
固定資産売却損益(△は益)	5,199	—
固定資産除却損	3,370	741
売上債権の増減額(△は増加)	3,137,744	2,207,638
たな卸資産の増減額(△は増加)	△65,431	△18,836
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,550,338	△1,917,984
その他	146,279	111,384
小計	△692,821	272,545
利息及び配当金の受取額	6,274	5,346
利息の支払額	△12,661	△13,044
法人税等の支払額	△13,344	△14,917
営業活動によるキャッシュ・フロー	△712,552	249,930
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△100,000	—
定期預金の払戻による収入	240,000	—
有形固定資産の取得による支出	△14,665	△93,067
有形固定資産の売却による収入	6,370	—
無形固定資産の取得による支出	△20,415	△20,661
投資有価証券の取得による支出	△53,270	△3,323
投資有価証券の売却による収入	140	—
保険積立金の払戻による収入	—	287,239
貸付けによる支出	△8,700	△6,100
貸付金の回収による収入	5,520	3,360
その他	1,736	△1,005
投資活動によるキャッシュ・フロー	56,714	166,441
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	1,000,000	—
長期借入金の返済による支出	△445,420	△266,898
自己株式の取得による支出	△212	△384
配当金の支払額	△40,273	△21,476
財務活動によるキャッシュ・フロー	514,094	△288,758
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△141,743	127,613
現金及び現金同等物の期首残高	1,308,522	1,179,963
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,166,778	1,307,577

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は商品の種類、販売先の類似性、損益集計区分及び関連資産等に照らし、ルート事業・建材事業・D I Y事業の3事業を報告セグメントとしております。

ルート事業は、住宅用資材及びビル用資材を二次卸・金物店・建材店等へ販売しております。建材事業は、住宅用資材及びビル用資材を金物店・建材店・販売工事店等へ、並びにOEM関連資材をサッシメーカー等に販売しております。D I Y事業は、D I Y商品をホームセンター及びディスカウントストアへ販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

	報告セグメント（千円）			合計（千円）
	ルート事業	建材事業	D I Y事業	
売上高				
外部顧客への売上高	11,892,227	2,869,988	1,221,804	15,984,021
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	11,892,227	2,869,988	1,221,804	15,984,021
セグメント利益	193,596	12,536	42,025	248,157

当第2四半期会計期間（自平成22年7月1日 至平成22年9月30日）

	報告セグメント（千円）			合計（千円）
	ルート事業	建材事業	D I Y事業	
売上高				
外部顧客への売上高	6,563,431	1,542,442	569,117	8,674,990
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	6,563,431	1,542,442	569,117	8,674,990
セグメント利益又は損失（△）	128,231	△3,626	6,809	131,414

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

当第2四半期累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

利益	金額（千円）
報告セグメント計	248,157
全社費用（注）	△454,666
四半期損益計算書の営業損失（△）	△206,509

当第2四半期会計期間（自平成22年7月1日 至平成22年9月30日）

利益	金額（千円）
報告セグメント計	131,414
全社費用（注）	△131,899
四半期損益計算書の営業損失（△）	△484

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(追加情報)

第1四半期会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。